

平成21年度 事業実績報告書

申請者の概要

申請者	団体名		岸和田商工会議所
	代表者職・氏名		会頭 柳曾 健二
	所在地		〒596-0045 大阪府岸和田市別所町3-13-26
	担当者	職・氏名	中小企業相談所 所長 植山幸次郎
		連絡先	電話番号（直通）： 072-439-5023
F a x： 072-436-3030			
		E - m a i l： kcci@kishiwada-cci.or.jp	
①設立年月日 ②職員数 （うち経営指導員数） ③所管地域 ④管内事業所数 ⑤管内小規模事業者数 ⑥会員数（組織率） ※②、④、⑤、⑥については直近の数字を記載のこと		昭和22年11月22日 13名（10名） 岸和田市 7,863 7,029 1,731（22.0%）	
□主な事業概要（定款記載事項等）			
①商工会議所としての意見を公表し、これを国会、行政庁等に具申し、及び建議すること。 ②行政庁等の諮問に応じて、答申すること。 ③商工業に関する調査研究を行なうこと。 ④商工業に関する情報または資料の収集、または刊行を行なうこと。 ⑤商品の品質または数量、商工業者の事業の内容その他商工業に係る事項に関する証明、鑑定及び検査を行なうこと。 ⑥輸出品の原産地証明を行なうこと。 ⑦商工業に関する施設を設置し、維持し、または運用すること。 ⑧商工業に関する講演会または講習会を開催すること。 ⑨商工業に関する技術または技能の普及または検定を行なうこと。 ⑩博覧会、見本市等を開催し、またはこれらの開催の斡旋を行なうこと。 ⑪商事取引に関する仲介または斡旋を行なうこと。 ⑫商事取引の紛争に関する斡旋、調停または仲裁を行なうこと。 ⑬商工業に関して、相談に応じ、または指導を行なうこと。 ⑭商工業に関して、商工業者の信用調査を行なうこと。 ⑮商工業に関して、観光事業の改善発達を図ること。 ⑯社会一般の福祉の増進に資する事業を行なうこと。 ⑰行政庁から委託を受けた事務を行なうこと。 ⑱前各号に掲げるものの外、本商工会議所の目的を達成するために必要な事業を行なうこと。			

各種データ

岸和田商工会議所

経営指導員の相談

業種別	巡回相談											相談対象企業数	
	経営革新	経営一般	IT	金融	税務	労務	取引	環境対策	法律	その他	計		うち 会員数
製造業	16	184	20	97	20	118	6	1	5	19	486	245	社 社
建設業	0	70	5	72	2	81	4	0	0	6	240	135	
小売業	0	161	8	47	20	36	1	1	2	7	283	160	
卸売業	0	28	5	17	3	20	0	0	3	0	76	52	
サービス業	4	113	7	58	15	64	2	0	5	5	273	158	
その他	0	44	2	7	1	4	0	0	0	10	68	30	
小計	20	600	47	298	61	323	13	2	15	47	1,426	780	
創業	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	
合計	20	602	47	298	61	323	13	2	15	47	1,428	782	1,238

※その他の内訳

業種別	窓口相談（通信、電話等によるものを含む）											相談対象企業数	
	経営革新	経営一般	IT	金融	税務	労務	取引	環境対策	法律	その他	計		うち 会員数
製造業	12	132	8	100	8	208	8	2	5	14	497	211	社 社
建設業	4	91	6	186	18	125	3	0	2	3	438	183	
小売業	2	60	5	85	8	51	4	2	2	3	222	108	
卸売業	1	31	2	56	2	29	2	1	1	0	125	41	
サービス業	4	117	5	131	10	111	2	0	3	4	387	193	
その他	0	25	1	16	1	12	0	0	0	3	58	34	
小計	23	456	27	574	47	536	19	5	13	27	1,727	770	
創業	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2	2	
合計	23	457	27	574	48	536	19	5	13	27	1,729	772	1,465

※その他の内訳

注) その他・・・デザイン、技術、事業継承、後継者問題、M&A、BCP（事業継承計画）、CSR（企業の社会的責任）など
 注) 会員であるか非会員であるかは、相談した時点で区別すること

岸和田商工会議所

(1) 事業の目標

本市の産業経済の発展と地域の活性化のために不可欠な「がんばる企業」への支援のため、次の取り組みを行なう。①経営指導員による巡回・窓口相談指導の充実、②専門相談・専門家派遣による専門相談体制の確立、③倒産防止のための「経営安定特別相談室」の活用推進、④中小企業に対する金融支援事業の充実、⑤雇用安定・人材確保支援事業の強化、特に金融支援に関しては、資金繰りの円滑化と企業再生への支援として、小企業等経営改善資金（マル経）・小規模資金経営指導員特例貸付等を含む日本政策金融公庫並びに大阪府・岸和田市の制度融資の利用促進、中小企業金融円滑化法の周知広報を実施する。

(2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点

上記目標を踏まえ、一般経営相談・情報提供事業では巡回・窓口相談を実施、課題別経営相談支援事業では金融・記帳支援並びに法務・税務・労務・工業所有権等・倒産防止に関する相談事業を実施した。専門人材等連携促進事業では、事業活動の円滑な継続や課題解決のために経営マネジメントセミナー・経営安定セミナーを、経営者や従業員の資質向上のために人材育成セミナー・会計実務講座・IT活用セミナー・会計ITセミナーを開催した。また地域活性化事業では新事業創出に向けた支援として大阪地域創造ファンド事業・地域力連携拠点事業を、中心市街地の活性化に向けた支援として、岸和田TMOによる「みんなDay参加!どんチャカフェスタ」を、雇用の安定と人材確保として「岸和田貝塚合同就職面接会」を開催した。尚巡回・窓口相談において、事業者から特に相談の多い経営課題に関しては、指導員全体でその内容を検討し意見交換を行なうなど、情報の共有に努めている。

(3) 事業を実施した効果

一般経営相談・情報提供事業では、巡回・窓口相談を積極的に推進することにより、企業との信頼関係を構築するとともに、現在企業が抱えている経営課題を的確に把握し、迅速な解決に向けた具体的な支援を実施することが出来た。課題別相談支援事業では、法律や税務等の高度で複雑な問題を弁護士や税理士等の専門家を活用することで、迅速な解決に向けた支援を実施することが出来た。また専門人材等連携促進事業では各種のセミナーを開催することで、起業家の創業・従業員の資質向上・事業者の経営課題の解決等を支援した。更に地域活性化事業においては、市民を巻き込んだ幅広い交流により、企業の経営基盤の安定や販路開拓に貢献した。特に岸和田TMOによる「みんなDay参加!どんチャカフェスタ」では、地元商店街によるイベントを大々的に開催し、中心市街地の活性化に大いに寄与している。また「泉州ビジネスプラン大賞」は独自性と将来性を持つ意欲的な企業や起業家を表彰することで、その事業化を支援した。

(4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題

海外への輸出が伸びず、大手企業が生産や設備投資を控えるなか、地元中小企業を取り巻く経営環境は依然として厳しい。売上の低迷は資金繰りの悪化を招き、雇用情勢は益々不安定になっている。自社で優れた技術や商品を持っていても、マーケティングや販路開拓等営業のノウハウを持たず、思うように売上が伸びていない企業が多い。また中心市街地においては、周辺人口の減少と高齢化による商店の郊外への流出や後継者の不在等により、空き店舗が増加している状況である。そのようななかで、事業者の抱える問題は以前にも増して緊急かつ切迫したものになっており、当所の迅速な対応による取り組みが重要であるが、加えて、小規模事業者向けの施策の確立等、国・府・市が一体となった取り組みが必要である。

(5) 来年度への取り組み

企業が直面する経営課題の把握と解決のため、巡回・窓口相談を強化する。特に最も相談の多い金融支援に関しては、日本政策金融公庫や大阪府等の制度融資の利用促進を通じて、中小企業の健全な資金繰りを支援する。また高度で専門的な経営課題に関しては、公的支援機関や民間の専門家を活用して解決を支援する。優れた技術を持つ市内の優良企業に対しては、広く市民にその製品をPRし販路開拓を支援する。また創業・技術革新への支援を行い、企業の新分野への進出を促すとともに、地域経済の活性化を図る。さらには昨年に引続き企業と求職者のマッチング事業を行い、雇用の安定と創出を図る。

岸和田商工会議所

Ⅰ 一般経営相談・情報提供事業

支援のポイント・成果

目標数値に対して、巡回相談79.3%、窓口相談95.9%という実績になったが、前年比では巡回相談108.75%、窓口相談140.11%となっている。相談内容では、巡回・窓口とも「経営一般」、「金融」、「労務」の3分野で8割以上を占めており、今年度は特に「資金繰り」、「人事労務」といった企業にとって緊急で最も頻繁に直面する経営課題に迅速に対応することにした。「金融」においては、経済情勢の悪化による中小企業の資金繰り対策として、日本政策金融公庫並びに大阪府のセーフティネット融資制度の説明や中小企業金融円滑化法の周知、また「人事労務」においては、雇用維持並びに人材確保に向けた雇用セーフティネット関連の助成金等を紹介、同時に中小企業緊急雇用安定助成金の制度説明と申請書の記載方法について指導を行い、タイムリーな経営課題への対応を実施した。

事業名	指標	目標数値	実績数値	達成率	利用者満足度(点)	事業評価
巡回相談	相談件数	1,800	1,428	79.3%	100.0	5
窓口相談	相談件数	1,800	1,729	96.1%	100.0	5

Ⅱ 課題別経営相談支援事業

支援のポイント・成果

マル経融資制度の融資限度額の拡充や、当所会報等を活用した広報の結果、金融支援は昨年に引続き高水準を維持しており、昨今の景気低迷に伴い、中小企業を取り巻く環境が急速に悪化するなか、企業の円滑な資金繰りに貢献している。またこの事業では、法律・税務・労務・特許等の高度で複雑な問題を解決するため、弁護士・税理士・社会保険労務士・弁理士等の専門家を活用しているが、それぞれの専門家が親切で分かりやすいアドバイスをされており、相談しやすく迅速な問題解決が可能であったと、利用者には好評であった。

事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	利用者満足度(点)	事業評価
金融支援	継続	斡旋件数	108	105	97.2%	100.0	5
記帳支援	継続	支援事業所数	1	1	100.0%	100.0	5
法務支援	継続	相談日数	24	24	100.0%	100.0	5
税務支援	継続	相談日数	11	9	81.8%	100.0	5
労務支援	継続	相談日数	12	13	108.3%	100.0	5
工業所有権等支援	継続	相談日数	4	4	100.0%	100.0	5
倒産防止支援	継続	相談件数	2	2	100.0%	100.0	5

Ⅲ 専門人材等連携促進事業

支援のポイント・成果

経営マネージメントセミナーについては、「目標達成に向けた仕掛けづくり」をテーマに、経営計画に基づいた目標を達成するための具体的方策や企業事例を紹介した。創業塾についてはマーケティングや販売促進のノウハウ、ビジネスプランの作成指導等を行い、起業家の創業を支援した。会計実務講座は、日商簿記検定2級合格に必要な知識の習得を、パソコンセミナーはワード・エクセルの基本的な使い方や、会計ソフト「弥生会計」の操作方法の習得を目的に開催した。また本年度の新規事業として、求職者の就職を支援するための通学型基礎力養成研修事業を実施、全課程120時間の研修に15名が参加した。

重点事業	事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	利用者満足度(点)	事業評価
	創業・経営革新セミナー	継続	延参加者数	35	34	97.1%	90.0	4
	経営マネージメントセミナー	継続	延参加者数	30	31	103.3%	100.0	5
	経営安定セミナー	継続	延参加者数	30	30	100.0%	100.0	5
	人材育成セミナー	継続	延参加者数	20	16	80.0%	90.0	4
	会計実務講座(中級)	継続	延参加者数	15	19	126.7%	100.0	5
	会計実務講座(初級)	継続	延参加者数	30	44	146.7%	100.0	5
	パソコンセミナー(IT活用)	継続	延参加者数	120	122	101.7%	100.0	5
	パソコンセミナー(会計IT)	継続	延参加者数	15	10	66.7%	90.0	4
	通学型基礎力養成研修	新規	延参加者数	15	15	100.0%	100.0	5

Ⅳ 地域活性化事業

支援のポイント・成果

平成21年11月8日(日)に「産業フェア」と岸和田TMOによる「みんなで参加どんチャカフェスタ」を同時開催、岸和田産の優れた製品や商品を大いにアピール出来たことで、企業の知名度アップに貢献するとともに、中心市街地の活性化並びに地元商業の振興に貢献した。また昨年に引続き「泉州ビジネスプラン大賞」を実施、将来性と独自性を兼ね備えたプランを持ち、意欲的な事業展開を目指す企業・起業家のなかから大賞1社、優秀賞2社を選定しその事業化を支援した。また「求人・求職マッチング事業」では、従来の「岸和田貝塚合同就職面接会」とは別に「緊急合同就職面接会」を開催、併せて39社に参加頂き688名の方々が来場され、企業の人材確保並びに管内の雇用安定に資することが出来た。

重点事業	事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	利用者満足度(点)	事業評価
	大阪地域創造ファンド事業	継続	採択件数	4	8	200.0%	100.0	5
	地域ブランド戦略策定事業	継続	会議開催日数	3	24	800.0%	100.0	5
○	商業活性化促進(岸和田TMO)	継続	市民団体参加数	13	14	107.7%	100.0	5
	商業活性化促進(緊急給付金対策)	新規	参加事業所数	350	341	97.4%	90.0	4
	商工地域活性化促進(産業フェア)	継続	出展事業所数	30	34	113.3%	90.0	4
	展示相談会事業(産学官連携)	継続	出展事業所数	30	38	126.7%	100.0	5
	展示相談会事業(大阪勤業展)	継続	出展事業所数	4	6	150.0%	90.0	4
	求人・求職マッチング事業	継続	参加事業所数	30	39	130.0%	100.0	5
	//	継続	来場者数	500	688	137.6%	100.0	5
	泉州ビジネスプラン大賞	新規	応募数	15	16	106.7%	100.0	5
	各種研究会・交流会事業	継続	開催回数	7	5	71.4%	80.0	4
	地域力連携拠点事業	継続	セミナー延参加者数	140	299	213.6%	100.0	5
	//	継続	経営革新計画策定支援企業社数	10	30	300.0%	100.0	5
	//	継続	経営革新計画策定承認企業社数	8	7	87.5%	90.0	4
	//	継続	経営革新フォロー対象社数	8	8	100.0%	100.0	5
	若手後継者育成事業(青年部)	継続	定例会開催回数	3	2	66.7%	80.0	4
	//	継続	セミナー開催回数	1	1	100.0%	90.0	4
	建設業と元気回復事業	新規	活動日数	2	2	100.0%	100.0	5

岸和田商工会議所

事業名	商業活性化促進事業（岸和田TMO事業）				
新規/継続	継続				
想定している実施期間	2003年（開始）～		年（終了）		今年度 7 年目
実施期間全体を通じて予定している事業計画	当市中心市街地である南海岸和田駅周辺商店街地区において、魅力あるまちづくりと賑わいの創出を目的に、地域に根ざした市民型のイベントである「みんなDay参加どんチャカフェスタ」を開催。行政、当所、地元商店街、市民団体をメンバーとする「岸和田TMO」を組織し、さらに、岸和田TMO内に「共同事業部会事業推進委員会」と「イベント広報部会」を設置し、事業の運営を行う。				
継続事業の場合	これまでの実施状況と効果・成果	南海岸和田駅周辺商店街地区では、平成10年から地元住民や市民団体との連携のもと、地域活性化の共同イベントとして取り組んできたが、平成14年からは、岸和田TMO主催事業としてイベントを開催してきた。イベント当日は市内外から約2万人が来街される。また、「誰かがやってくれる」という意識ではなく、商業者自らが主体的にイベントを企画運営。さらに、各種の市民団体にご参加頂くなど、「市民参加型イベント」である。			
本事業の対象となる地域の現状や課題	南海岸和田駅周辺商店街地域では、人口の減少や高齢化の問題、大型店の出店競争の激化による「消費の低迷」、「後継者不足」、「空き店舗の増加」等の課題を抱えている。一方で、「常連顧客を多く持つ地域密着型の店舗が多い」、「個店独自の商品・サービスを提供している」等の強みも有している。このような個店のオリジナリティあふれる魅力を広く市民に知って頂き、また、商業者、行政、市民が一体となった取組みを行うことで、中心市街地の活性化を目指す。				
目標に対する実績	指標	市民団体参加数			
	目標数値	13	実績数値	14	達成率 107.7%
目標	「市民参加型、地域密着型イベントを目指す」という観点から、人形劇6団体、プラスバンド2団体、野菜市1団体、陶芸市1団体、卸業者1団体、飲食組合1団体、よさこい1団体の合計13団体の参加を目標とする。				
事業を実施した具体的な内容・方法・時期	実施内容としては、11月に各商店街ごとに企画した独自イベントや売り出し、各個店ごとの販促セール、また、集客のための共同イベントとして、ストリートパフォーマーによるパフォーマンス、人形劇まちかどステージ、来街者に各商店街を回って頂くためのスタンプラリー等を実施し、多くの市民団体にご参加頂き、「市民参加型・地域密着型イベント」となった。イベント効果をその後の個店運営にどう活かしていくかを課題とし、品揃えやサービスの充実等リピーターを増やしていくことで、個店の継続的な売りに繋げて行くよう支援した。				
マスコミ等に取上げられた回数	岸和田市広報1回、テレビ岸和田での開催案内3回、民間広報誌に掲載2回、商工会議所会報1回				
PR方法とその影響	開催案内については、開催前日に岸和田市と忠岡町全域、貝塚市の一部の約7万5千世帯にチラシの新聞折込、中心市街地周辺40町約2万世帯に町会を通じてチラシ配布、そのほか岸和田市広報、岸和田商工会議所会報、テレビ岸和田放送、民間広報誌によりPRを行った。来場者数は約2万5千人。なお、来場者にアンケートを実施したところ、告知媒体としては町会配布チラシが53名、市の広報が33名、新聞折込チラシが32名、口コミが8名という順になった。				
利用者満足度（点）	80				
事業評価	4				
実施した効果	TMO主催イベントとして、商店街自ら取り組む姿勢で持続性のある賑わいづくりを行なった結果、岸和田の年間を通じたイベントとして定着してきており、8商店街で、益々、面としての地域交流事業を一体となって取り組み、商店街の魅力向上に繋げている。また、来場者へのアンケート調査でも、「何回目の来場か？」を伺ったところ、「毎回」が44%、「3回以上」が30%と合わせて4分の3を占め、「継続希望？」の質問には、98%の人が継続を希望し、おおむね来場者の満足度は高かったものと思われる。				
実施した結果浮かび上がった課題および次期以降への取り組み	問題点は、少ない予算の中でイベントをどのように継続させていくかどうかであり、更なる飛躍のために新しいイベントもしていかなければならず、今年は「どこでもステージリラパフォーマンス街なか大道芸フェスティバル」と「フリーマーケット」に力を入れ、例年どおり「人形劇まちかどステージ」「スタンプウォークラリー」なども開催したが、せっかく来て頂いたお客様を素通りさせることなく、それをいかにして各個店の売上げにつなげていくのかも課題であり、今年も「どんチャカセール」を実施し、回を重ねるごとに参加店が増加しており、個店の売上げ強化にも取り組んでいる。今後は、さらなる個店強化及び空き店舗対策に取り組み、面として中心市街地全体の活性化を計っていきたい。				
事業全体の収支状況	収入	支出			
	大阪府補助金 950,000円 商工会議所 1,001,387円 商店街負担 502,176円 計 2,453,563円	広告宣伝費 642,123円 イベント費 1,454,080円 会場設営費 65,700円 渉外費 291,660円 計 2,453,563円			